

豊明市行政評価制度 「事務事業」評価票

一般事務事業 経常事務事業 **建設事務事業**

第5次行政改革大綱第1次アクションプランとの関連

有
 無

1 事務事業の概要

1-1 事務事業の名称	道路維持事業						
1-2 担当	部	経済建設部	課 又は施設	土木課	係	維持管理係	評価票作成者 土木課長補佐 小川 泰則
1-3 総合計画における施策の体系	節	都市基盤・産業振興 「いきいきとした賑わいと活力あふれるまちづくり」			基本施策	道路	コード 3 1 1
	項	道路・交通			単位施策(中)	道路の維持管理	コード 3 1 1 3
					単位施策(小)	維持補修の早急な対応	コード 3 1 1 3 2
1-4 事務事業の目的の精査	対象と対象の数	市道 1,293路線 延長348.092km		意図(対象を事務事業によってどのような状態にするのか)	良好な市道の状況を保つ。		
1-5 事務事業の内容	道路パトロールや、市民からの要望、苦情により危険箇所の特定をして処理する。 また、職員で対応できる事は早急を実施する。						

2 事務事業実施の状況

2-1 事務事業の実施における基本認識	事務事業実施にあたって心がけた改善の取組み		社会状況等の事務事業がおかれる環境把握		市民ニーズの認識	
	平成18年度	古材の有効利用を図り、直営で実施できることは、その場で行った。	財政状況が厳しい中で、予算を有効に活用する。		個人本意の要望が強くなった。	
	平成19年度	〃	〃		〃	
	平成20年度	〃	〃		〃	
	平成21年度	〃	〃		〃	
	平成22年度					
	平成23年度					
	平成24年度					
	平成25年度					
	平成26年度					
平成27年度						

2-2 総合計画における単位施策成果指標	事務事業成果指標名		前期目標値(単位)	後期目標値(単位)	指標の説明
	危険箇所発見・要望・苦情件数		900(件)	800(件)	道路パトロールによる危険箇所発見件数の内業者発注の件数、道路利用者からの要望、苦情件数の合計。

2-3 成果指標に係る活動実績とコストの推移(アウトプット分析)	活動実績 a(単位)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
	直接事業費 b(千円)	629(件)	659(件)	655(件)	493(件)						
	人件費 c(千円)	140,610	123,082	85,443	86,286						
	合計コスト d(b+c)(千円)	23,296	23,356	23,184	22,600						
	単位コスト d/a(千円)	163,906	146,438	108,627	108,886						
		市道維持管理1件当たり 261	市道維持管理1件当たり 187	市道維持管理1件当たり 166	市道維持管理1件当たり 221	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり	当たり

アウトプット実績(活動数値)の補足説明 → 苦情要望等で受け付けた内容の内、実際に処理できた件数(発注件数)で、管理者実施分を含まない実数。
人件費=作業根拠=3.5人×6,457千円=22,600千円

2 - 4 成果指標に対応する実績と達成度の推移	指標対応実績(件)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
		後期目標値に対する達成度(%)	922	834	853	896					

平成16年度現状値：1,321件、(1,321 - 現年値) ÷ (1,321 - 後期目標値)

3 事務事業の自己評価結果

3 - 1 評価結果(アウトカム自己分析)	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
単年度担当課評価	A	A	A	A						

4段階評価結果
 A : 上位目的である施策に貢献しているので継続する
 B : 事務事業の実施手法や環境(予算的・人的)に改善が必要
 C : 縮小等、事務事業としての見直しが必要
 D : 事務事業の廃止が相当

判断の基準
 必要性(必要な事務事業であるか)
 公共性(公が実施する意味があるか)
 妥当性(ニーズに対して投入が適正か)
 効率性(結果に至る活動に無駄はないか)
 有効性(活動の結果が上位の目的に貢献しているか)
 市民満足度(事務事業が対象にしている市民を満足させているか)

3 - 2 評価の内容	今後の環境変化を踏まえた課題認識	次年度に向けて改善する取組み	事務事業の担当課としての単年度の取り組みの自己評価
平成18年度	道路の維持補修においても、リサイクル材の使用が望まれる。	経費の削減が求められているので、効率的な予算の執行に努めたい。	古材を使用して維持補修するなど、経費の削減に向けた取り組みができた。
平成19年度	ユニバーサルデザインの採用に心がける。	〃	職場全体で経費の削減に向けた取組が出来た。
平成20年度	要望が多様化する中、一つ一つの要望に対してよく吟味し、その積み重ねにより公平感のあるものにしていきたい。	一つ一つの要望に対してよく吟味し、効率的な予算の執行に努めたい。	古材を使用して維持補修するなど、経費の削減に向けた取り組みができた。
平成21年度	〃	〃	台風18号の影響で漸減していた要望処理数が増加に転じたが、効率の良い発注等更なる経費の節減に取り組むことができた。
平成22年度			
平成23年度			
平成24年度			
平成25年度			
平成26年度			
平成27年度			

4 事務事業の総合評価結果

4 - 1 総合評価の結果	結果	審査会による改善方向の指示
平成18年度	A	継続して事業を進めること。
平成19年度	A	継続して事業を進めること。
平成20年度	A	継続して事業を進めること。
平成21年度	A	継続して事業を進めること。
平成22年度		
平成23年度		
平成24年度		
平成25年度		
平成26年度		
平成27年度		